

機能ポール フレムスGrand

施工要領書

このたびは、三協アルミ商品をご採用いただきましてありがとうございます。

商品の施工には、この施工要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

注意事項は、商品の性能・機能、強度および安全性を確保する上での重要な内容です。施工の際は必ずお守りください。

●施工は専門業者様が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

●電気工事は、電気工事士の資格が必要です。電気工事が必要な場合、必ず電気工事店様へご依頼ください。

注 取り扱い説明書と宅配ボックスのキー、ダイヤル錠の解錠番号シールと調整具(解錠番号変更時に使用)は必ずお客様へお渡しください。

設置上の注意事項

- ☐ 機能ポール以外への転用や改造は行わないでください。
- ☐ 荷物の取り出しスペースを十分にとり、通行の妨げとなる場所に設置しないでください。
- ☐ 地下埋設物(給排水管など)に影響をおよぼさないように柱位置を決めてください。
- ☐ 給湯、暖房などの燃焼機器の排気ガスまたは車の排気ガスが直接商品に当たったり、滞留しないように設置してください。塗膜の剥がれなどの表面異常が発生するおそれがあります。

施工上の注意事項

- ☐ 指定してあるボルトやねじをすべて確実に締めてください。ねじは止める面に対し傾かないよう垂直に取り付けてください。
- ☐ 指定の部品やオプション品以外は使用しないでください。
- ☐ 機能ポールの表面を保護する場合はマスキングテープをご使用ください。
- ☐ 基礎は当社指示寸法以上にしてください。
- ☐ 基礎はコンクリートを用いて施工してください。
- ☐ コンクリートやモルタルの養生期間は十分(4日~7日)にとり、養生期間中は重い物をのいたり振動させたりしないよう、お客様や他の工事業者様にお願いするか、その旨の注意表示をしてください。
- ☐ 基礎用のコンクリートやモルタルに海砂を使用しないでください。塩分による腐食の原因となります。また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤などを使用しないでください。
- ☐ 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れたあとに柱を立てると、柱内部に水がたまり凍結破壊の原因となります。
- ☐ 電気工事完了後、お客様へ引き渡す前に通電し作動確認を必ず実施して問題のないことを確認してください。
- ☐ 施工後、ボルトやねじ類にゆるみやガタつき、また使用上危険な箇所や汚れなどが点検してください。
- ☐ 開閉作動や施錠が正常に行えることを確認してください。
- ☐ 作業終了後の商品にキズ、ヘコミなどが点検してください。
- ☐ 取り扱い説明書に基づき、商品の使い方(施錠・電装品の操作方法など)や保守・点検方法およびメンテナンス方法を必ずお客様へ説明してください。
- ☐ 機能ポール本体は30kg以上あります。二人以上での施工をおすすめします。

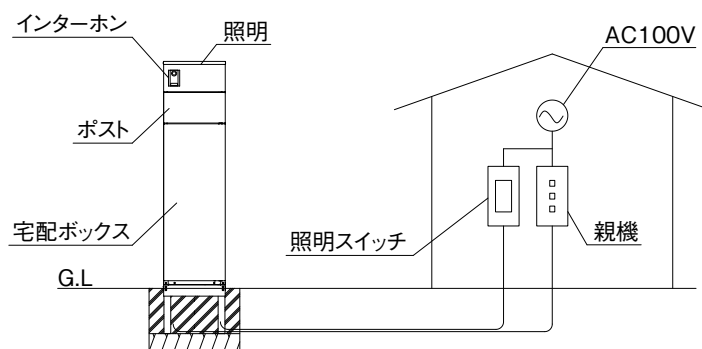
工事の分担

■取り付け施工店様

- ① ベース材の取り付け P.4
- ② 機能ポールの設置 P.5
- ③ 表札の取り付け P.5
- ⑥ 前面パネルの取り付け P.8

■電気工事店様

- ④ インターホンの取り付けと配線 P.6~7
- ⑤ 照明の取り付けと配線 P.8
- ⑥ 前面パネルの取り付け P.8



※機能ポールには配線が必要となります。

施工に必要な工具類・資材類

■取り付け施工店様

- ☐ 基礎工事仕上げ必要工具や資材など一式
(スコップ、セメント、砂、その他)
 - ☐ 電気ドリル、キリ($\phi 4$)
 - ☐ 六角棒スパナ(呼び2.0)
 - ☐ 充電式ドライバー、電気ドライバーまたはプラスドライバー
 - ☐ 巻尺、水平器、下げ振り
- その他必要に応じて工具、資材をご用意ください。

■電気工事店様

- ☐ 配線管:パナフレキCD DM616K(パナソニック)相当品
- ☐ 連結カップリング:DMS16C(パナソニック)相当品
- ☐ 照明用:VVFまたはVVR3芯
- ☐ インターホン用:インターホン指定の電線
- ☐ 電気ドリル、キリ($\phi 3.6$ 、 $\phi 10$)
- ☐ 六角棒スパナ(呼び2.0)

インターホンについて

- インターホンは、市販品の露出型インターホン(1コ用スイッチボックス適合)を別途購入してください。

※形状によって取り付けできないものがあります。

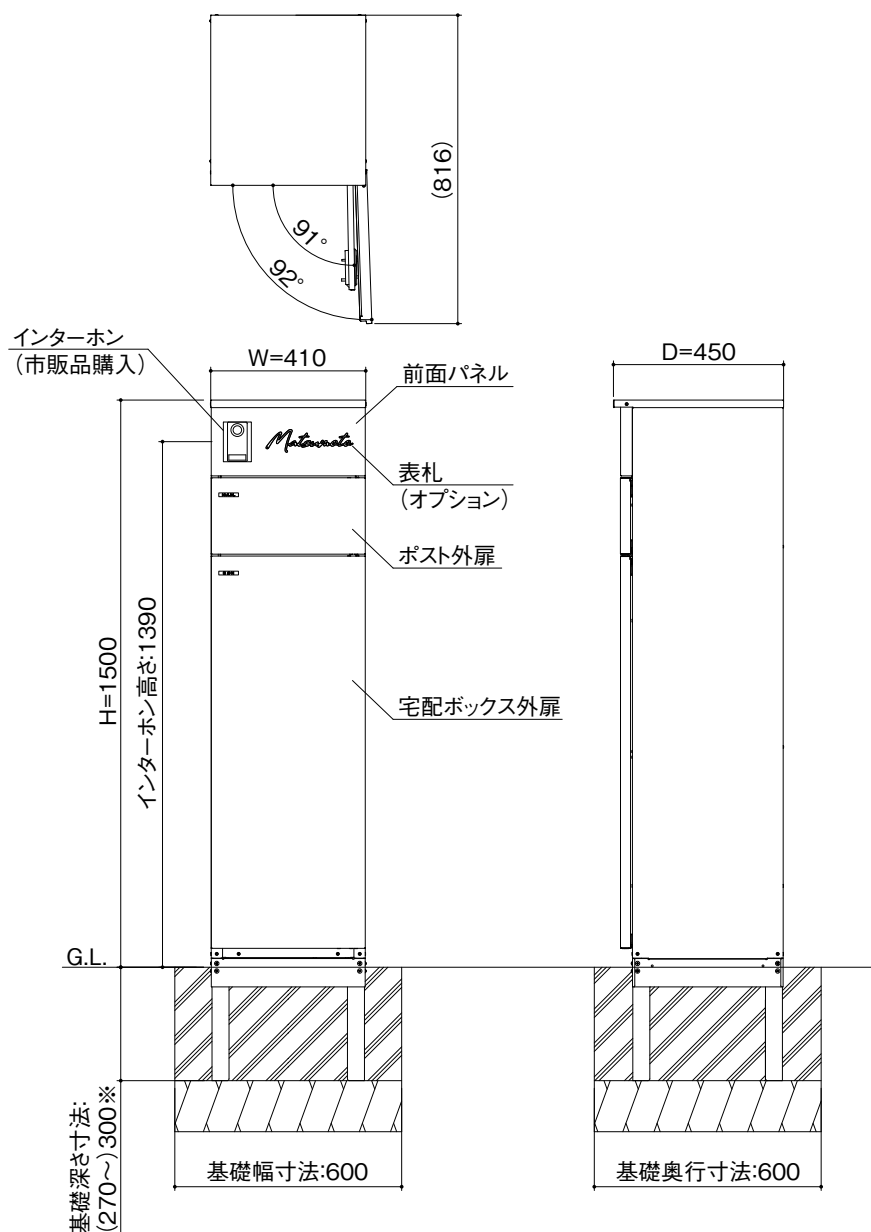
表札について

- アルファベットシールを直接貼り付けることができます。
- 表札シリーズから別途購入してください。

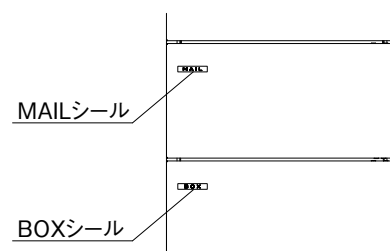
納まりおよび基礎寸法

下図は商品構成の一例です。

■機能ポール(本体:インターホン加工あり、右勝手の場合)



シール貼り付け例



※埋め込み深さは、土間勾配がある場合など270mmまで小さくして調整できます。

梱包内容

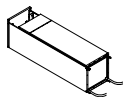
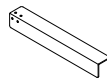
□開梱時に種類と数量を確認してください(部品袋の内容も確認してください)。

□商品に破損や異常がないか確認してください。

□開梱後、商品にキズをつけないように保管してください。

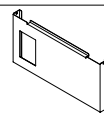
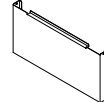
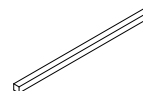
□万一商品に破損や異常がある場合、部品が不足している場合は、販売店様または三協立山株式会社 三協アルミ社までご連絡ください。

■機能ポール 本体 [KPBG-15R(L)]

品 名	形 状	数 量
本体		1
ベース材		4
ベースカバーA		2
ベースカバーB		2
小ねじトラス 5×10		16
MAILシール GC1154 ※		1
BOXシール GC1155 ※		1
キー		2
施工要領書 HZ2476		1
取り扱い説明書 HZ2477		1

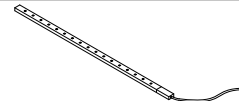
※MAILシールはポスト外扉に、BOXシールは宅配ボックス外扉の任意の位置に貼り付けてください。

■前面パネル [KPBG-IP][KPBG-N]

品 名	形 状	数 量	
		KPBG-IP	KPBG-N
前面パネル インターホンあり		1	—
前面パネル インターホンなし		—	1
インターホン台座 GC0010		1	—
小ねじトラス 4×20		4	—
小ねじトラス 4×15		4	—
小ねじトラス 4×8		2	2
六角穴付き低頭ねじ 4×10		4	4
六角ナット M4		—	2
クッション材 ※		1	1

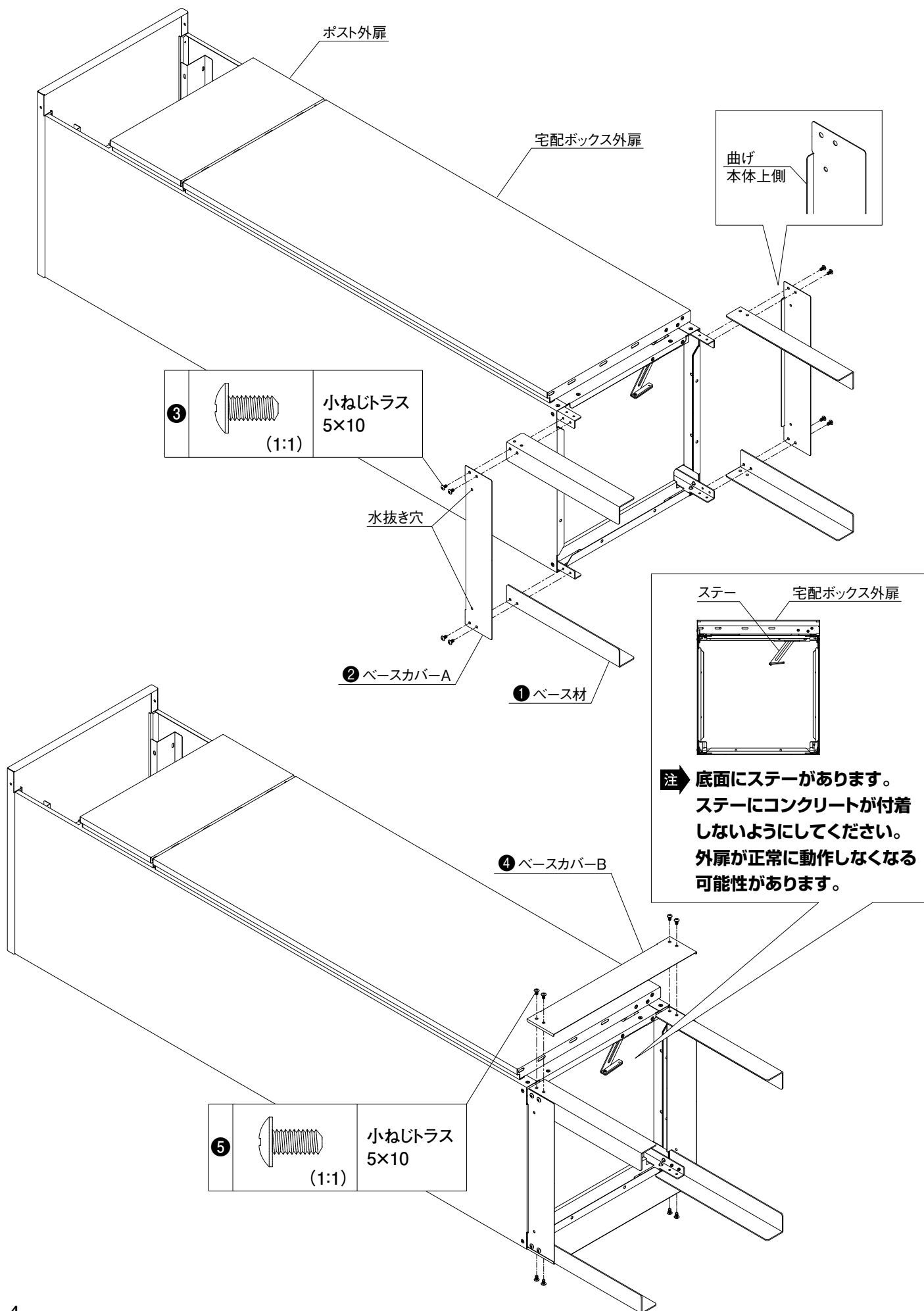
※照明を取り付けない場合に使用します。

■照明 [KPBG-E]

品 名	形 状	数 量
照明 GB9353		1
両面テープ GB9949		1

1 ベース材の取り付け

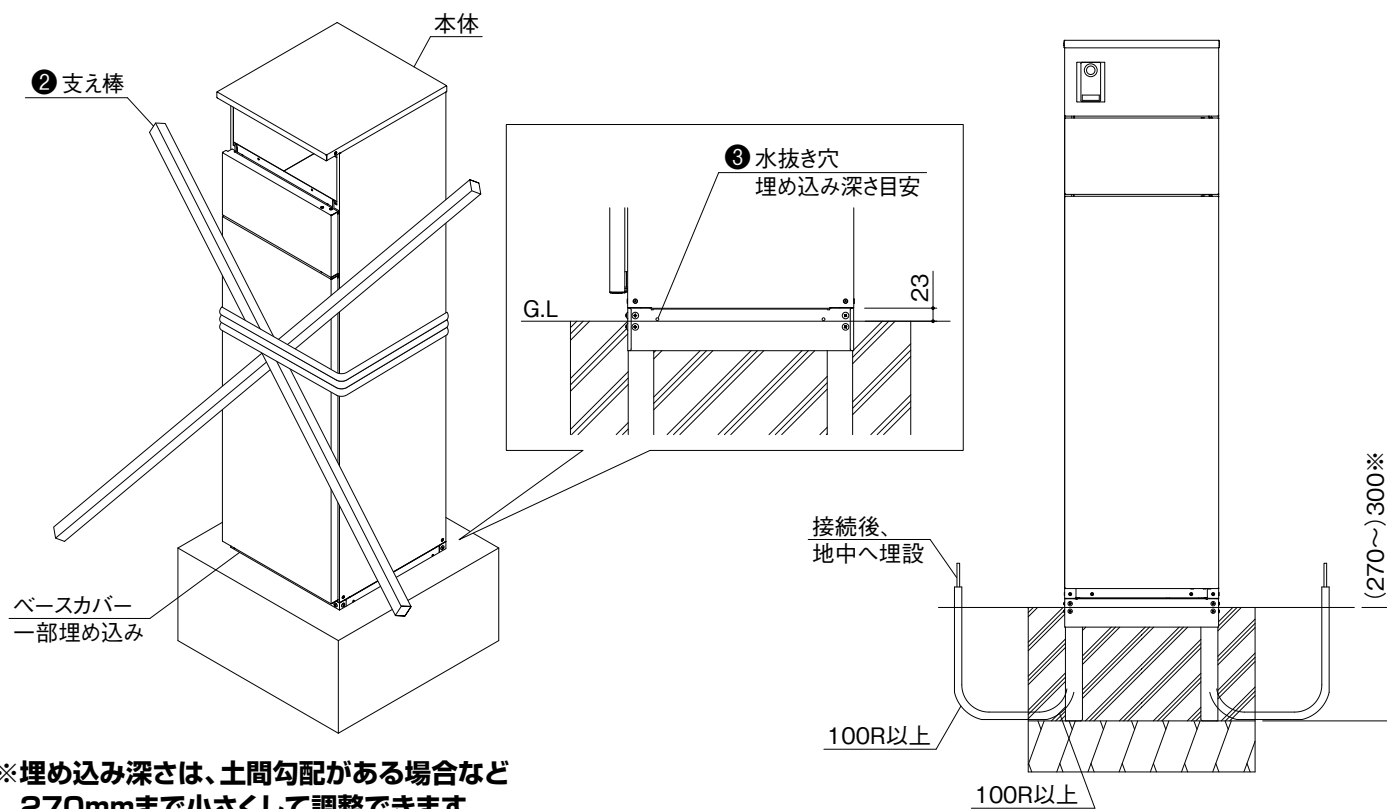
黒丸数字は施工手順を表します(例①、②)



2 機能ポールの設置

黒丸数字は施工手順を表します(例①、②)

- ①機能ポールを埋め込み穴に設置し、仮固定してください。
- ②支え棒などで自立させてください。
- ③納まり寸法、機能ポールの垂直・水平を確認し、コンクリートを流し込んでください。



※埋め込み深さは、土間勾配がある場合など270mmまで小さくして調整できます。

- ➡ ●配線管の先端は、室内側との接続までは仮に地表へ出してください(接続後、地中へ埋設します)。
 ●配線管の曲げは、その内側の曲げ半径が100R以上になるようにしてください。
 ●上記の指示どおりに施工を行わない場合、配線ができなくなることがあります。

3 表札の取り付け

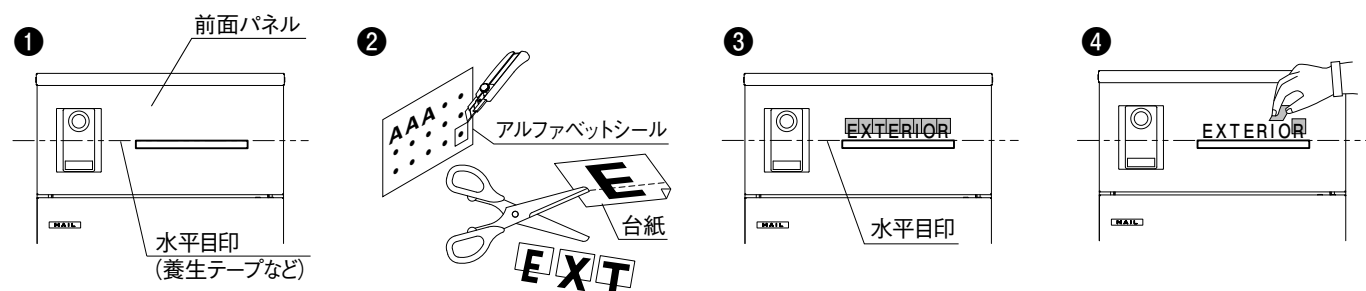
黒丸数字は施工手順を表します(例①、②)

前面パネルに表札を取り付けてください。

アルファベットシールを使用する場合

※表札面の油や汚れなどをきれいに落としてください。

- ①アルファベットシールを貼る位置に、養生テープなどで水平目印をつけてください。
- ②アルファベットシールから必要な文字を台紙ごと切り取り、文字を切らないよう注意して、台紙のみをハサミで5分の1程度切り取ってください。
- ③水平目印と文字の位置を合わせて、仮貼りして位置を整えてください。
- ④位置が決まったら台紙を剥がし、文字が剥がれないようにしっかり貼り付け、養生テープなどを剥がしてください。



表札を使用する場合

※表札に同梱されている施工要領書を参照の上、取り付けてください。

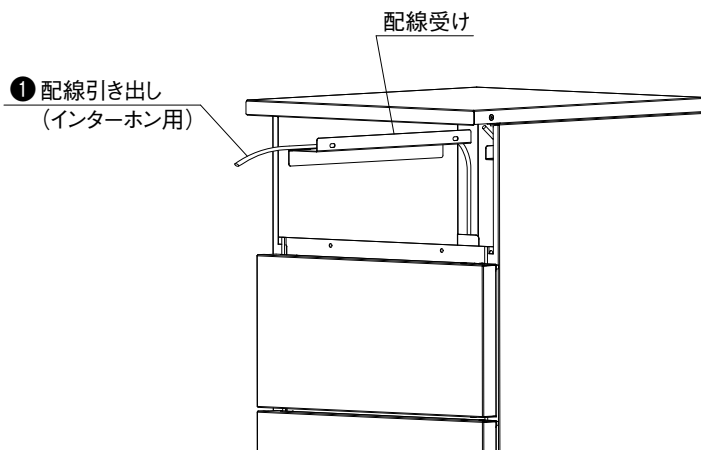
4 インターホンの取り付けと配線

黒丸数字は施工手順を表します(例①、②)

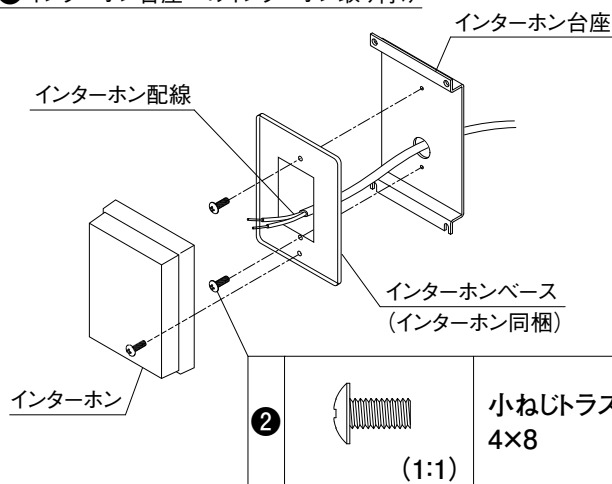
インターホンの取り付けと配線は、お近くの電気工事店様に依頼してください。

インターホン加工あり(インターホン内蔵)の場合

※当社指定のインターホンのみ内蔵取り付け可能です。当社指定のインターホン機種を別途購入してください。



② インターホン台座へのインターホン取り付け



※インターホンの結線方法などの詳細については、インターホンに同梱されている説明書をご覧ください。

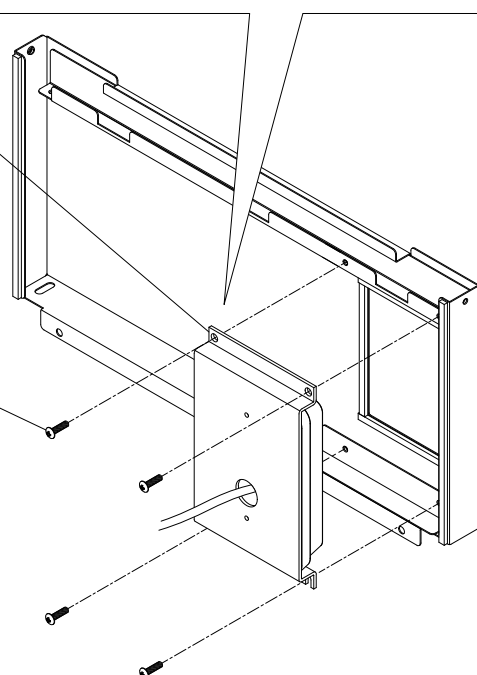
※カメラレンズ角度調整レバー付きインターホンの場合、インターホンに同梱されている説明書を確認の上、カメラの映る範囲を確認し、カメラレンズの調整を行ってください。

③ インターホン+インターホン台座

※前面パネルとすき間のないように調整して取り付けてください。
※インターホンのボタンの位置などが前面パネルの切り欠きとずれがある場合はインターホンの取り付け位置を調整してください。

③		小ねじトラス 4×15	インターホン厚さ 26.5～29の場合
		小ねじトラス 4×20	インターホン厚さ 30～35の場合

※締め付けの際、電動工具を使用しないでください。

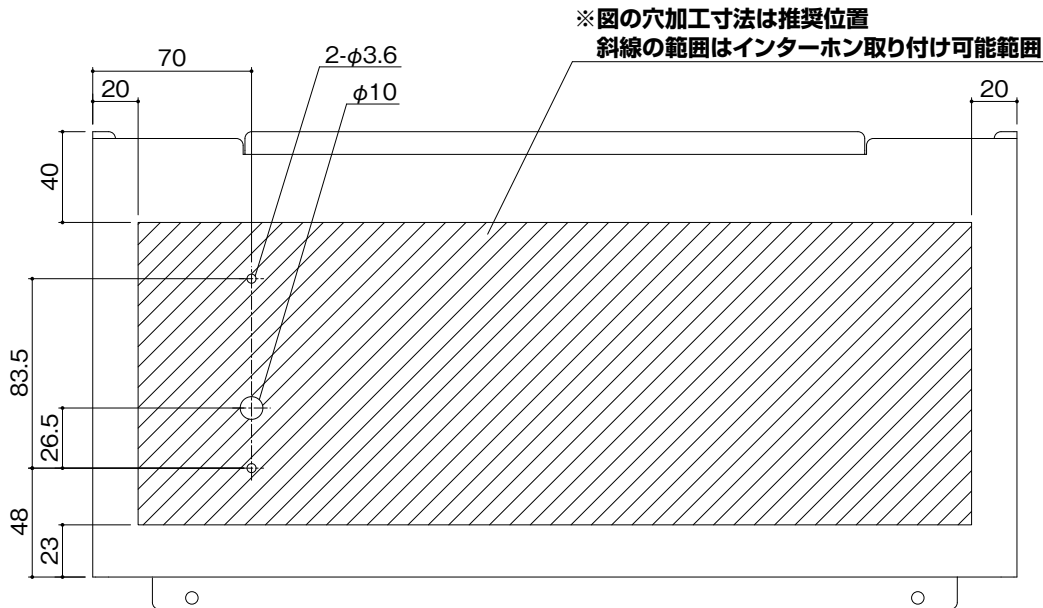


インターホン加工なし(インターホン外付け)の場合

※インターホンは市販品を別途購入してください。

①インターホン取り付け穴加工

※穴位置にはマスキングテープを貼り、養生してください。また、腐食の原因となりますので、切粉はきれいに取り除いてください。



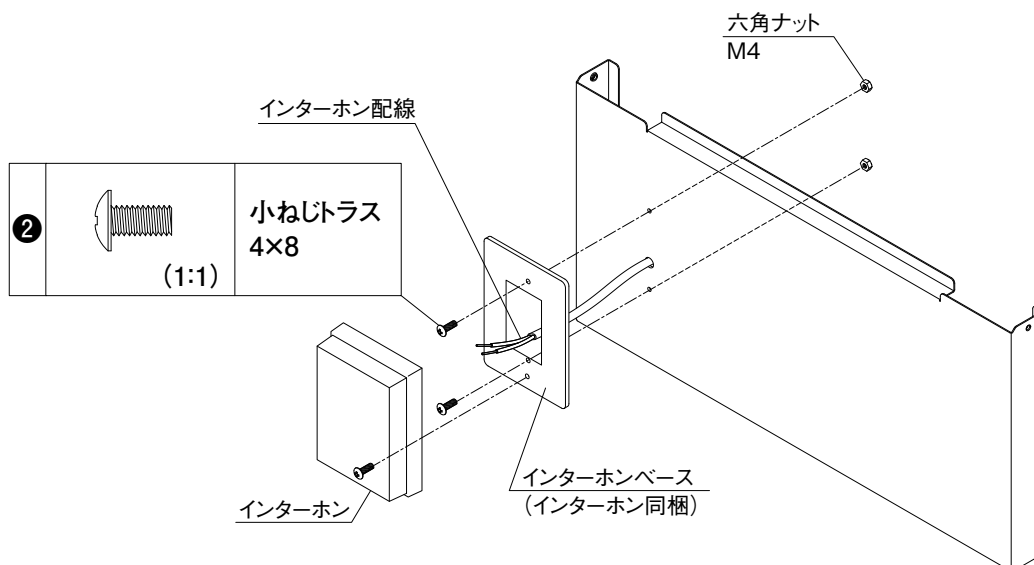
注 照明ありの場合、カメラ映りが問題ないことを確認の上、インターホン位置を決定してください。
照明光によりカメラが見えにくくなる場合があります。

②インターホン用配線引き出し(P.6と同様)

③インターホン取り付け

※インターホンの結線方法など詳細については、インターホンに同梱されている説明書をご覧ください。

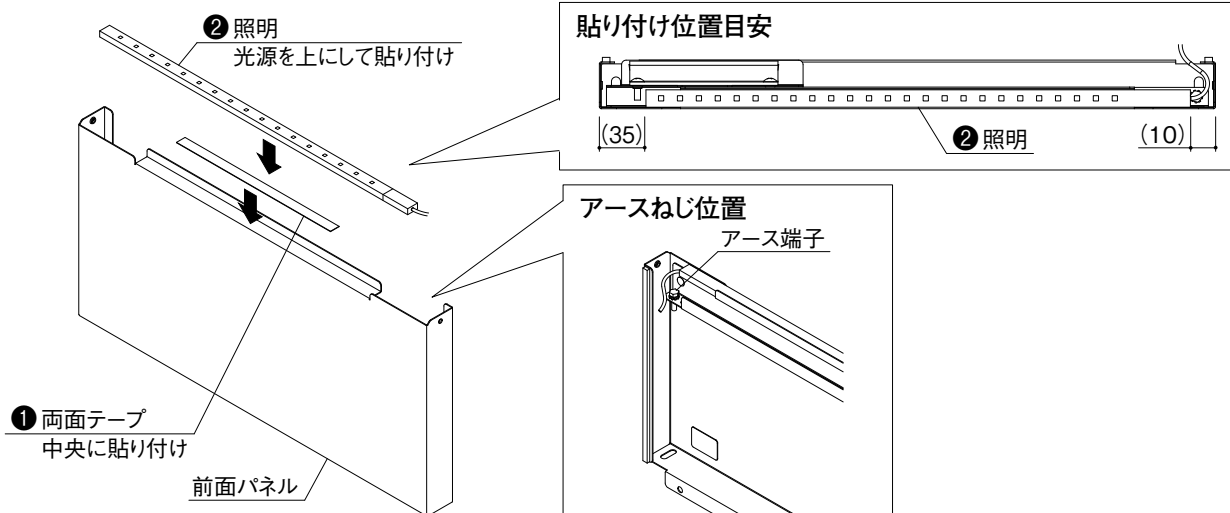
※カメラレンズ角度調整レバー付きインターホンの場合、インターホンに同梱されている説明書を確認の上、カメラの映る範囲を確認し、カメラレンズの調整を行ってください。



5 照明の取り付けと配線

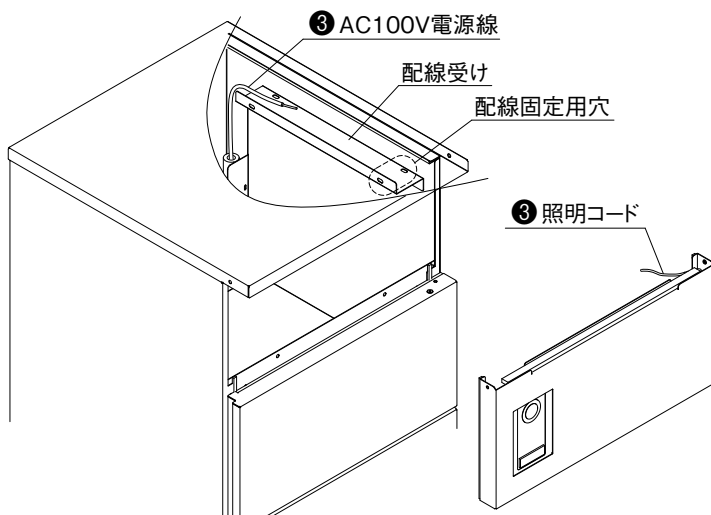
黒丸数字は施工手順を表します(例①、②)

照明の取り付けと配線は、お近くの電気工事店様に依頼してください。



③ 4 インターホンの取り付けと配線

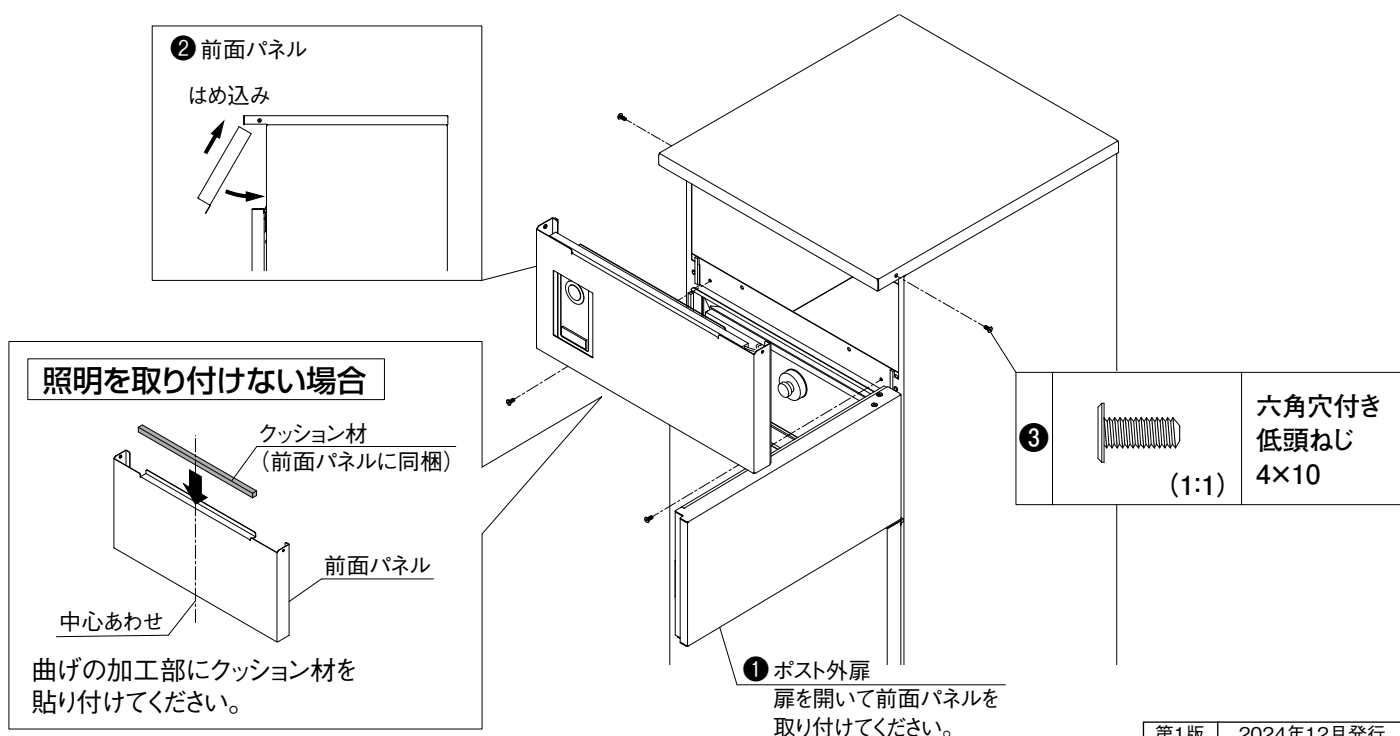
と同様に配線を引き出してください。



- 注**
- 結線部はリングスリーブなどで確実に圧着した後、自己融着テープなどで防水・絶縁処理を行ってください。防水・絶縁処理を行わないと正常に動作しない原因となります。
 - 前面パネル上部のアース端子を用いて照明の接地工事を行ってください。
 - 取り付けの際は、電線を損傷させないように注意してください。損傷させると漏電や正常に動作しない原因となります。
 - 配線は、配線受けに結束バンドなどで固定し、下部へ垂れないようにしてください。

6 前面パネルの取り付け

黒丸数字は施工手順を表します(例①、②)



第1版 2024年12月発行